国体事務局だより

（プール）

先般県営熊本城プールが約四糎沈下したことについて、皆さんに御心配をおかけしたことをまづお詫びいたします。現在、鹿島建設及び日本水泳連盟が、その原因について検討中であり、原因を充分確めました上、対策を講じることになつており、鹿島建設に責任を以て復旧してもらいたいと考えています。

（野球場）

熊本市藤崎台に建設予定の県営野球場については、熊大分院の移転が必要ですが、県と大学との話合いで、分院の患者さんを済生会病院にお移しすることになると思います。

又、藤崎台には、七本の樟樹があり、天然記念物に指定されていますが、これはスタンドの設計技術により、全然支障がなく、むしろ天然の樟を取り入れた球場として、誇りうるものと思います。

ただ、出城の一部が、スタンドにかかるということが問題になりましたが、これは文化財専門委員の方と充分相談し、資料や模型等を残すということで了承いただき、来年の国体までには充分間に合うとの見通しがたちました。

（選手強化）

国体を開催する以上、地元の選手が良い成績を挙げることが必要です。それは全国各地から来県する選手に対する礼儀でもあります。県では、選手強化の対策のひとつとして、県体育協会に三百万円の助成を考えており、開催市町村でも同じく三百万円補助するわけですが、なおこれでは不足する状況です。県体協では、選手強化のための経費（総額一千三百万円）不足分の一部として、三百万円を非開催地の市町村へも協力していただこうと、町村会を通じてお願いしています。

（宝くじの売上増）

西日本宝くじの売上増を国体経費の一部に充てたいと考え、熊本市内三ヵ所、八代市内一ヵ所に直売ボックスを新設していますので、皆さんの御協力をお願いします。

（県民の歌、国体用県旗）

募集を締切つた県民の歌は二五九篇、県旗の図案は二三八枚、本県内のみならず、全国各地からも応募がありましたが近く審査の上、発表の予定です。

（標準献立試食会）

十月十三日、各保健所の栄養士が熊本女子大で国体五日間の標準献立を作り試食会を開きました。今後、郷土色をできるだけとり入れることやパン食希望者の問題など、開催地や調理関係者と充分連絡をとりつゝ、栄養価の高い、選手に喜ばれる献立の研究を続けるつもりです。

（開催地事務局長会議）

十月十五日、公会堂において事務局長会議を開催しました。

宿泊要綱、医療救護要綱、輸送業務準備要綱など各種の要綱案について互に意見を交換し、又、県と各開催地との間の業務分担も細い点にわたつて検討しました。

（東京国体）

十月十七日、本年度の国体に参加する四九七名の選手の結団式が公会堂で行われ、二十三日に主力が東京に向け出発しました。

明年の国体にそなえて、東京のやり方を充分研究して、熊本においてその活用をはかることが大切であり、その意味で、役員の方の東京国体での研究が期待されています。

（県国体事務局）

町から村から

全村の水道化完成

旭志村ではいま西部地区の簡易水道の一月元日通水を目ざして工事を急いでいる。総工費一七五〇万円（うち約五三〇万円は国と県の補助）で特に消火栓を三五ヵ所に設ける。受益戸数は約五〇〇戸。これが完成すれば全村水道化は菊池郡内ではじめて、県内でも五番目となるわけ。

（旭志村報）

生徒が体育大会を運営

芦北郡の田浦中学校では、さる十月五日体育大会を開催したが、これまでのやり方と違つて、大会の運営はすべて生徒にまかせられ、生徒達はものゝ見事にやつてのけた。教育的にも大きな収穫であつたと好評だが、その裏には先生方の努力と苦心があつた事も忘れてはならない。

（田浦町公民館報）

督促状のいらない町

山鹿市西上町の町ぐるみ納税組合は発足以来順調な発展を続けている。これまでは市民税の場合三人に二人の割合で督促状を出さねばならない状況であつたのが、今年は全部完納。山鹿市発足以来はじめの事と、市では組合の協力に感謝している。

（山鹿市政のあゆみ）

家畜診療センターできる

菊池郡内の各獣医師さんが、個人開業をやめて、菊池家畜診療センターとして発足した。個人開業ではどうしても手のでない新しい機械器具もどし〳〵設置し又家畜共済事業との提携もこれまで以上に密接となる。本院は菊池市隈府に、分院を泗水村と大津町に、又七城村等には出張所をおくことになつた。人員は二名配置の予定で、手のまわらぬ時はセンターの全機能を結集して診療に当るというから、牛たちもモウ安心というわけ。

（七城広報）

町から村から

国体めざして

↑女子体操部の選手たち

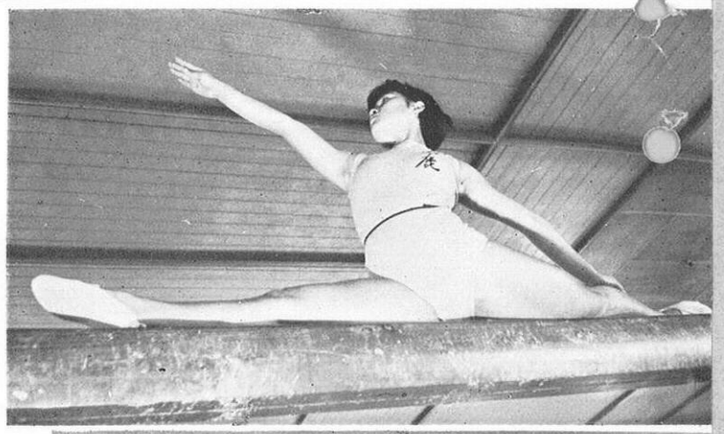
スポーツ優秀校めぐり ③ 県立山鹿高校

☆ ☆ ☆

――幾多の成果の上に――

もと女学校の本校は、戦后男女共学となつてから新しい伝統を樹立し、特にスポーツの面で幾多の輝かしい成果をおさめつゝあります。来年度の熊本国体への陣容も、スポーツ人口の多い本校では次々と後続部隊を控えているので、出場選手も増加するものと期待しています。

県立山鹿高校長
広永　政太郎



美しいホームをみせる松川節代さん →

↑上野由起子さんのきれいなポーズ

戦　歴

（女子体操部）

- 34年度県高校体操大会団体優勝
- 34年度個人
  1位松川節代 2位上野由起子 3位 小田絹子
  4位小田マリ子
- 34年度　全九州大会
  団体2位
  個人1位 松川節代
  6位 小田絹子
  8位 上野由起子

（女子体育ダンス部）

- 34年県高校体操大会団体徒手2位
- 34年全国高校体操大会団体徒手5位

↓はつらつたる女子体育ダンス部の選手たち

↗自然の大気の中で……